



がん検診も受けましょう

がんは早期発見できれば、決してこわくありません。
健康保険組合の婦人科オプションや、
自治体のがん検診などを利用して、ぜひ定期的に受けるようにしましょう。

がんは早期発見できれば、治る確率もぐんと高くなります

「全がん協部位別臨床病期別5年相対生存率(2007-2009年診断症例)」
全国がん(成人病)センター協議会の生存率共同調査(2018年2月集計)による

女性が受けておきたい

5つのがん検診

乳がん

早期発見(1期)できた
場合の5年相対生存率
100.0%

40歳以上2年に1回

マンモグラフィ
(乳房X線)検査
または
超音波検査(エコー)

**女性がかかりやすい
がん第1位!**

早期発見できなかった場合(IV期)の5年生存率は、37.1%に低下してしまいます。乳がんは日本人女性がもっともかかりやすい(12人に1人)がんです。
※40歳未満の方は乳腺密度が濃く、マンモグラフィでは発見しにくいので、超音波検査(エコー)をおすすめします。

子宮頸がん

早期発見(1期)できた
場合の5年相対生存率
92.3%

20歳以上2年に1回

細胞診
医師または自分で子宮の入り口を軽くこすって細胞を採取する

早期発見できなかった場合(IV期)の5年生存率は、26.6%に低下してしまいます。若年層に多く、ヒトパピローマウイルスによる感染がおもな原因です。一度でも性交渉の経験があれば可能性があります。

大腸がん

早期発見(1期)できた
場合の5年相対生存率
97.6%

40歳以上1年に1回

便潜血検査

**女性のがん
死亡原因第1位!**

早期発見できなかった場合(IV期)の5年生存率は、20.2%に低下してしまいます。あなたが受けようとしている健診に、検査項目が含まれているか確認しましょう。

肺がん

早期発見(1期)できた
場合の5年相対生存率
81.8%

40歳以上1年に1回

胸部X線検査

※喫煙者は痰を調べる「喀痰細胞診」の併用を推奨

**たばこを吸わない人も
肺がんになります!**

早期発見できなかった場合(IV期)の5年生存率は、4.5%に低下してしまいます。あなたが受けようとしている健診に、検査項目が含まれているか確認しましょう。

胃がん

早期発見(1期)できた
場合の5年相対生存率
97.4%

40歳以上1年に1回

胃X線検査

または
胃内視鏡検査

早期発見できなかった場合(IV期)の5年生存率は、7.2%に低下してしまいます。あなたが受けようとしている健診に、検査項目が含まれているか確認しましょう。



自治体のがん検診について

上記5つのがんは全て自治体でも検診を実施しています。無料クーポン券など、自治体からがん検診のご案内を受け取った方は、ぜひこの機会に受診しましょう。

自分のカラダ、 大事にしてる?

こんな方は**要注意!**

- 最近、健診を受けていない
- 乳がん・子宮がん検診を受けていない
- 健康よりも美容・アンチエイジングが気になる
- スイーツや美味しいものに目がない
- お酒やタバコに依存しがち
- 妊娠中、高血糖または高血圧になったことがある



健康保険組合から

あなた
**貴女のために
健診の
お知らせです**